

編集長殿

今の病院の有様不合理さに腹の立つこと多く、遂に我慢できず病院の入院計画では加療 8 週間 56 日を我慢して居れず 10 日も早く飛び出してきた経緯をご掲載頂ければ、なお大歓迎になります。

頭がやられなかったのは、10年ほど前まで毎日カブに乗っていてその時かぶっていた単車用のごついヘルメットを冬場は耳の防寒にかぶっていたからでした、まあ、毎日 車の中を走っていれば、やられる確率が日々高くなっていく、と実感もしてヘルメットしていました。

頭のみならず頸椎・脊椎にも損傷なく、先ず、後遺症が出てくる心配はないと主治医の診断で安心しています。

嬉しいことは怪我の功名、事故前まで毎朝起きるとき、腰痛で上体を起こすのにナギしていたのに、その厄介神も跳ね飛ばしたのか、今は何の苦もなく起き上がれるようになってます。

これは、以前お伝えしておりませんでしたか、腰痛治療の緩消法の成果、一昨年 9 月から続けてきた成果です。担ぎ込まれた時院の手術予定満杯で 1 週間待ち、その 1 週間は完全寝たきり、1 週間もまったく運動しなければ筋肉の硬化確実、痛みの原因は筋肉の硬直、寝て起きるとき、腰が痛いのは腰回りの筋肉が硬くなり、神経や血管の圧迫、寝返りしないと体が痛くなったり、不快な体調になるわけです。

緩消法で治癒すれば再発しないと豪語している通り、私の腰回りの筋肉の軟らかさは事故前と同じで硬くなっていない、事故前までは疲労の痛みだった、事故の寝たきりが休養となって腰痛を完全に解消したのだと考えます。

緩消法というのは、筋肉を軟くする方法で、痛みを除去する方法ではありません。筋肉の軟らかさが保持されてるなら緩消法の成果です。

腰痛はほとんどの人の問題ですね、皆さんが強い関心を持つテーマになりますよ。

再見

